

する事もあるべし、そののちまたまんざれば、それをいま御まわりとも云べし、
一末のものといふ女、くわんをさな名をよぶべし、ひでう同じ、

一はしたものげすの事、源氏のもくろくのうちつけべし、をさな名もあるべし、まちの名もつくる事有、さふらうをそへてつくるは、すこしあがるなり、そへぬは、こそをそゆるなり、はしたものよりおとりたらば、源氏のもくろく、こうななごつくる事、ゆめく有べからず、

一をさな名は、上中下によらずつくるべし、

一中らふのつくくらゐも、さんぢうなり、一條殿、二條殿、三條殿、れんせい殿、かすが殿、堀川殿、高倉殿、ばうもん殿、大納言殿、權大納言殿、京極殿、大みや殿、新大納言殿、此次は民部卿どの、あせち殿、そち殿、中納言殿、まんちう納言殿、別當殿、さるもんのかみどの、うゑもんのかみ殿、さいまやうどの、兵衛のかみ殿、大藏殿、ちぶ卿殿、ぎやうぶ卿どの、くないきやう殿、左京大夫殿、右京大夫殿、大江殿、中じやう殿、ぬひどの、此次はだいぶどの、うだいぶどの、まんだいぶどの、べん殿、少將殿、じやうどの、さるもんすけ殿、うゑもん助殿、少納言殿、せう殿、大まんだいぶどの、たゆふのすけどの、

をさな名少々

ちやく、あちや、か、と、あこ、あか、あと、こ、ちやち、つま、あや、よ、

この類なり

一下、朧のつく國名、伊豫はりま、さぬき、みの、をはり、三河、備中、たんど、とさ、はうき、美作、

〔薩戒記 部類二〕女房名事

上臈

東御方 南御方 西御方 廊御方 對御方 御妻 一條殿 二條殿 三條殿 近衛殿 冷